

グランベース 一括りの操縦桿



▲完成までにこの写真以上の多数の模型を作り実走可能なカーボンテストサンプルも製作



▲テストライドは勿論素手で極薄バーテープでフィールドも幾つかのパターンで行います



▶これまでに幾多のハンドル設計を行ってきましたが (Vol.56 参照)、一体型であり製品単価を出来るだけ抑えたい為にも当面 2 サイズのみと想定しての取り組み。細かなサイズ構成を武器にしていた東京サンエスのオリジナルハンドルの思想と、この度は決別するわけですから、かなりのプレッシャーがあります。しかし何とかさりと普通にとっても良いモデルに仕上げたい。

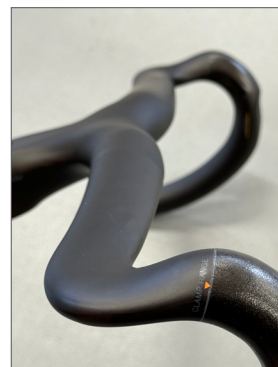
決別しながらもとどの詰まりは、積年の経験結果の最突端から導かれた必然の形状になった次第です。

▶ Grand Base = グランベースとは、既存モデルのグランモンロー SL の Grand = グラン (素敵) から引用していますが、Base = ベースをくっ付けたことで、付け根や土台となり得るものになりたい想いを乗せています。調べてみますと Grand Base = 本拠地、とも訳されるようです。

ともかく、自転車が快適で楽しくなることに貢献する、フロントフォークを介して取り付く一括りの操縦桿として、役に立てられたらと願うところです。



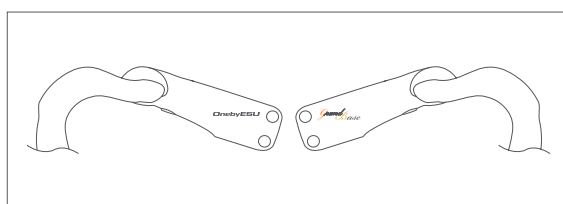
▲幾多のトップモデルを製造する工場により超軽量となりました



▲各所複雑な造形を施していますがスマートでもあります



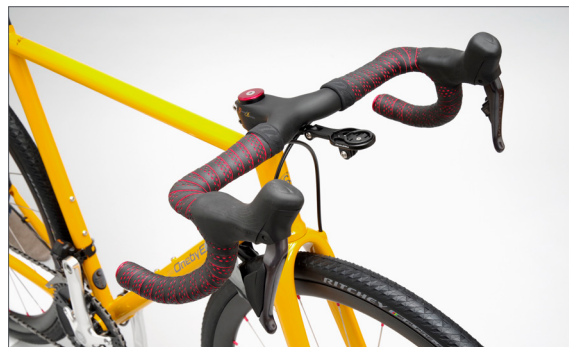
▲仕上がった雰囲気は結構さりと収まっています



▲ロゴはヘッド角 72 度に合わせたデザインとなっています



▲サイズ表記が複雑なためエンド部分に図面を入れています



▲同時にマウントも開発しています



▲最終的にはシェイプすると共に強靱性も持たせています (下が最終形状)

Grand Base

グランベース及びマウントの詳細は、「東京サンエス総合カタログ Vol.30」に掲載しています。近日中に OnebyESU 製品サイト内でも公開いたします。

onebyesu.tokyo.san-esu.com